

監査報告書

令和5年5月29日

社会福祉法人 恩陽会
理事長 名城 道一 殿

監事 新垣 喜春 

監事 儀間 敏光 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 社会福祉法人制度改正後の法人運営等が正しく執行されていきました。

(4) 有限会社ニューラッキーランドリーとの単価交渉について、適正に交渉がなされていることを確認した。これからも毎年、双方で真剣な協議を重ねて市場価格と乖離しない適正な価格を獲得できるよう努めて下さい。

(5) 障害福祉サービス事業の評価において、改善が求められている利用者の個別支援計画の作成にあたっては、引き続き利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成するよう努めて下さい。

(6) ウィズコロナの新たな段階への移行を進め、本格的な生産体制に向けた従業員の人材育成の強化と機械設備等の整備・投資を計画的に推進していくことを期待しております。

以 上